

研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

記

研究の名称	高齢者における膵癌閉塞性黄疸に対する EUS 下肝内胆管ドレナージ術の安全性の検討
対象	2014 年 1 月から 2022 年 12 月までで、当院で膵癌閉塞性黄疸に対し、EUS 下肝内胆管ドレナージを試みた患者さんの治療成績を解析する研究に利用いたします。本学では、79 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028 年 7 月 5 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：超音波内視鏡下肝内胆管ドレナージ術(EUS-guided transhepatic biliary drainage ; EUS-TD)は、術後再建腸管（手術で消化管をつなぎあわせた）症例や ERCP（内視鏡を用いて十二指腸から胆管にカテーテルやワイヤーを挿入して行う処置）不能例に対する胆道ドレナージ（胆管の通過障害を治療すること）の代替療法として普及しています。ERCP に比べ膵炎の偶発症が少なく、一期的に内瘻化が可能であり、特に高齢者においては外瘻化によるチューブ抜去や ADL 低下のリスクも少なくありません。近年、高齢化に伴い、高齢膵癌患者に EUS-TD を行う症例も少なくありません。そこで今回、高齢者における（75 歳以上）膵癌閉塞性黄疸に対する EUS-TD の安全性を検証すべく検討を行いました。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、</p>

担当者 西岡 伸

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 58232

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 西岡 伸 殿

研究の名称	高齢者における膵癌閉塞性黄疸に対する EUS 下肝内胆管ドレナージ術の 安全性の検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄:)

住所

氏名(自署)